

## 県内と首都圏の企業交流を

# 東京でビジネススマツチング

山口県の企業と首都圏の企業がビジネスで交流を深める「第1回やまぐちビジネス」(やまぐち産業振興財団主催、山口県後援)が22日、



プレゼンテーションで同社の緑化技術を紹介する、海水化学工業の上田篤課長代理

東京都中央区の日本橋プラザで開かれた。

県内企業14社、首都圏の企業や団体11社が参加し、山口県企業のプレゼンテーションを実施。海水化学工業(防府市)が「緑化技術を応用した省エネルギー技術」と題し、同社が展開中の屋上緑化の技術や省エネルギーなどを紹介。参加者と活発に意見を交換した。

基調講演もあり、栃木県のパン・アキモト社長の秋元義彦氏が「那須のパン、世界へ宇宙へ」グローバルな発想の転換」と題し、非常食「パンの缶詰」の開発経緯や苦労話、国際貢献活動「救任鳥(きゅうかんちよう)プロジェクト」の展開といった同社の取り組みを披露。参加者は真剣な表情で聞いていた。

その後、県名産品を食べながらの懇親会も開かれ、交流を深めた。

主催者のやまぐち産業振興財団の田村健取引振興部長は「今年2月にプレという形で実施し、2010年度から本格的に始めた。新規事業や自社技術の商品化を考えている山口県の企業に、情報を得る場、ネットワークを広げてもらう首都圏業者との情報交換の場を提供できれば」と話していた。本年度は、11月にプレゼンテーションと商談会、来年2月に今回と同じ形式で実施予定。

県内の参加企業は次の通り。  
海水化学工業、ぎじろくセンター、サンポリ、三和産業、ジオパワーシステム、セキュラ、テクノウエル、デコス、東京印刷、ナカオ、西日本技術開発、ハクヨウ、プライムゲート、YOOD S (50音順)